



ISUMI CITY
ASSEMBLY

いすみ議会だより

発行：いすみ市議会 編集：議会だより編集委員会 2006. 5. 1発行
〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1 TEL 0470-62-1406 (議会事務局)

ホームページアドレス：<http://www.city.isumi.lg.jp/> メールアドレス：gikai-gizi@city.isumi.lg.jp



みんなわかった！中根小学校での交通安全教室

主な内容

- 平成18年度予算のあらまし 2ページ
- 予算審議 3ページ
- こんなことを決めました 4ページ
- 一般質問 6ページ
- 会議録が検索できます 10ページ

第2号

平成18年
第1回 定例議会

平成18年度当初予算可決

一般会計予算は132億8,000万円

第1回定例議会は3月1日から20日までの20日間の会期で開催されました。

この定例議会で審議された議案は、平成18年度いすみ市一般会計予算をはじめ、4つの特別会計の当初予算、平成17年度補正予算、人権擁護委員候補者の推薦、各種条例の制定及び改正など30議案が提出され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり可決・同意されました。

さらに、いすみ市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正ほか3件の議員発議案についても、それぞれ原案どおり可決されました。

3月定例議会の一般質問は、8人の議員が登壇し、市の一般事務について質問しました。

平成18年第1回定例議会
当初予算ほか34件を審議

平成18年度 予算のあらまし

一般会計	132億8,000万円
国民健康保険会計	45億1,560万7千円
老人保健会計	45億9,419万4千円
介護保険会計	23億5,609万4千円
水道事業会計	収益的支出 17億7,762万9千円
	資本的支出 6億1,089万3千円

予 算 審 議

平成 18 年度の予算を重点的に審査するため、各常任委員会を 3 月 7 日から 10 日に開催し、一般会計及び各特別会計予算の審査が行われました。

3 月 20 日の定例議会最終日に、各常任委員長がこの審査の内容と結果を報告し、本会議において可決されました。委員会での審査概要は、次のとおりです。

平成 18 年度予算は、いすみ市の基本構想前の予算であるので、新市建設計画の基本方針に基づきながらも、大規模事業の計上は控えたものとなっている。特別職・一般職の給与の削減をはじめとする経費の削減を図り、新市の一体化を目指し、市民生活の向上と地域の振興を図るための新規予算の計上が数多く見られる予算編成となっていました。

▼一般会計での主な審査点

- ・基金の取り崩しと残高及び財政推計について
- ・旧大原中央公民館解体工事について
- ・市税の徴収と滞納について
- ・シャトルバスと市内交通システムについて
- ・第一次総合計画策定について
- ・元気な「いすみ市」スタートプランについて
- ・第 2 保育所アスベスト除去工事について
- ・乳幼児医療費助成について
- ・生活保護事務について
- ・次世代育成支援行動計画策定業務について

▼国保国吉病院負担金について

- ・都市との物産交流事業について
- ・里山環境整備事業について
- ・元気な地域づくり交付金について
- ・都市漁村交流活動事業補助金について
- ・いすみ市商店街連絡会活性化事業補助金について
- ・埋蔵文化財の保管について
- ・国吉中学校校舎耐震補強工事について
- ・サッカー場用地取得について（岬中学校）
- ・成人式について



委員会での予算審議

▼国民健康保険特別会計での主な審査点

- ・国民健康保険税滞納繰越について
- ・出産育児一時金について
- ▼介護保険特別会計での主な審査点
 - ・介護保険料滞納繰越について
 - ・配食サービス事業について
- ▼水道事業会計での主な審査点
 - ・高料金対策補助金について
 - ・岩船地先配水管布設工事について

▼総務常任委員会

- ・基金の取り崩しについては慎重を期すこと
- ・税金の用途を分かりやすく市民に伝え、納税意識の高揚を図り、滞納額を縮減し、徴収率向上の方策を検討すること

▼民生環境常任委員会

- ・ごみの分別収集について、積極的な周知を図り、市民のごみに対する意識の高揚に努めること
- ・国民健康保険税の徴収体制の強化と滞納整理の推進に努めること

▼産業建設常任委員会

- ・自然豊かな「いすみ市」を大いに啓発し、地場産業の発展等、地域振興に努力すること
- ・各種補助金につき、適正な補助制度を検討すること

▼文教常任委員会

- ・教育予算の拡充を図り、教育の充実を図ること
- ・岬中学校の早期の建設推進を図ること

各常任委員会から、今後の行財政執行上、次の事項等を指摘しました。

3月定例会議では こんなことを決めました

議案の内容

市長提出議案

- ◎いすみ市国民保護対策本部及びいすみ市緊急対処事態対策本部条例の制定
- ◎いすみ市国民保護協議会条例の制定
- （武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律の施行に伴い、国よりいすみ市に対し、国民保護対策本部の設置が必要な地域と指定された場合の対応及び、国民の保護のための措置に関する施策を総合的に推進するため、条例を制定したものです。）
- ◎いすみ市特別職の職員で非常勤のもの等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- （国民保護協議会委員の報酬額を定めたものです。）
- ◎いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ◎いすみ市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
- （特別職及び教育長の給料を平成18年4月1日から2年間15パーセント減額するものです。）
- ◎いすみ市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例の廃止
- （市長が選挙され決定したことに伴い、市長職務執行者の職務が終了したため廃止するものです。）
- ◎いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正
- （人事院勧告を受け、給料表及び給料制度の見直しをしたものです。）
- ◎いすみ市ごみ処理施設建設改修基金条例の廃止
- （基金の残額が小額であることから、設置目的の類似した、いすみ市公共施設等整備基金に統合するため廃止するものです。）
- ◎いすみ市学校給食センター条例の一部改正
- （大原・岬のそれぞれの学校給食センターに設置する運営委員会を一本化し、委員数についても減らすものです。）
- ◎いすみ市岬ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部改正
- （運営協議会委員を減らすものです。）
- ◎いすみ市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正
- （小学校3年までとされている対象児童について、4年生以上の児童及び区域外で市内の小学校に就学する児童について特に認められた場合は対象とすることができるところとするものです。）
- ◎いすみ市介護保険条例の一部改正
- （介護保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、保険料率の改正と、新予防給付事業を追加したものです。）
- ◎いすみ市中小企業資金の融資に関する条例の廃止
- （現在二つの利子補給制度がある中、いすみ市中小企業振興利子補給金交付要綱に基づく制度に統一するため廃止するものです。）
- ◎経営体育成基盤整備事業
- （能実地区）に伴う字の区域及び名称の変更
- （事業を施行した結果、字界変更の必要が生じたため、地方自治法の規定により議会の議決を求めたものです。）
- ◎千葉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉縣市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉縣市町村総合事務組合規約の一部改正に関する協議
- （廃置分合により、いすみ市、匝瑳市、南房総市、香取市、山武市及び山武郡横芝光町が設置、また一部自治体が成田市に編入されること並びに3月31日をもって千葉県自治センターが解散されることに伴う協議です。）
- ◎千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議
- （廃置分合により、いすみ市、匝瑳市、南房総市、香取市、山武市及び山武郡横芝光町が設置、また一部自治体が成田市に編入されることに伴う協議です。）



各種の催しが行われる岬ふれあい会館



基盤整備事業の終わった能実地区

- ◎千葉県自治センターの解散に関する協議
- ◎千葉県自治センターの解散に伴う財産処分に関する協議
- (千葉県自治センターの解散及び解散に伴う財産処分に関する協議です。)
- ◎平成17年度いすみ市一般会計補正予算
- ◎平成17年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算
- ◎平成17年度いすみ市老人保健特別会計補正予算
- ◎平成17年度いすみ市介護保険特別会計補正予算
- ◎平成18年度いすみ市水道事業会計予算
- ◎人権擁護委員候補者の推薦(2件)
- (清水 祐 氏 再任)
- (丸 豊 氏 新任)
- ◎平成17年度いすみ市水道事業会計補正予算
- ◎平成18年度いすみ市一般会計予算
- ◎平成18年度いすみ市国民健康保険特別会計予算
- ◎平成18年度いすみ市老人保健特別会計予算
- ◎平成18年度いすみ市介護保険特別会計予算
- ◎平成18年度いすみ市水道事業会計予算

議員提出議案

- ◎いすみ市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正
(現議員の在任特例期間が終了する平成18年11月30日までの間の議員の政務調査費の交付を停止するものです。)
- ◎いすみ市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
(平成18年度に支給する議員の期末手当を、現行の445月分から1.2月分減額し、年間325月分とするものです。)
- ◎小児慢性特定疾患医療費助成に関する意見書
(小児慢性特定疾患治療研究事業における対象疾患の基準の緩和を国に働きかけるよう、千葉県に対し意見書を提出し、同時に国の制度を補完できる医療費助成制度の創設を求めたものです。)
- ◎児童扶養手当の減額に関する意見書
(児童扶養手当受給5年後の減額率の緩和と、自立に向けた就労支援のより一層の充実を求め、国会等の関係機関に意見書を提出するものです。)

memo

**在任特例期間中の
議員政務調査費
支給停止**

**期末手当も
減額しました**

意見書を
提出しました

議員提出により可決した意見書を関係機関に送付しました。

- ◎児童扶養手当の減額に関する意見書
《提出先》衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、少子化・男女共同参画特命大臣
- ◎小児慢性特定疾患医療費助成に関する意見書
《提出先》千葉県知事

Q&A 一般質問

市政をきく

3月定例議会の一般質問は、3月3日に市政全般に対して活発な質問が行われました。ここでは紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

新市建設にあたり、市長の考えについて

熱田 彰 司 議員

熱田議員 小さな政府、小さな市政について、市長の選挙公約にありましたが、具体的にはどのようなことを言われているのか

市長 今市がやらなくてはならない分野、民間に任せた方が効率的である分野、さらには市民に負担を願わなくてはならない部分など、十分検討し、合併を機に行政のせい肉を落とし、市民に期待される市役所をつくるため、行財政改革を

行いながら小さな市政をつくり上げ、そこから生み出した財源を有効に使って、思いやりの市政と市民サービスの充実したいすみ市づくりを目指します。

熱田議員 歳出削減と事業仕分けについて、税金のむだ遣いを一掃して、大胆な歳出削減を行うため、市政の仕事の洗い直す作業が必要かと思うが

市長 「元氣な『いすみ市』スタートプラン」の中におい

医療問題について

元吉議員 国保国吉病院の建設について事業内容の詳細は

市長 平成17年1月4日、千葉県より配分病床、総病床数144床ということで内示を受けたところで、内訳は、一般病床92床、療養型病床を48床、感染症病床4

元 吉 基 議員

床の通知を受けています。

事業費については、地上5階、地下1階、延床面積1万2,500平方メートル、今の想定金額で、建物で49億8,700万円余です。外構解体工事等で4億3,000万円余、医療機械等の購入費で14

て事務事業の見直しという項目で行政評価制度の導入について触れているが、本市が行っている事務事業についての成果や効率・効果、必要性等を検証するため、行政評価制度の導入を行い、予算の配分の重点化、歳出の削減等を図っていくこととするものであり、この評価の仕組みを確立させ、予算配分の重点化、歳出削減を行っていくと考えています。このことにより、市民サービスの向上、そして自立できるいすみ市の実現に向けて努力します。

億5,000万円、用地取得費で1億1,000万円余、設計監理料等で2億3,000万円、総額72億1,000万円余です。また、新病院の施設の概要については、人に優しい医療を基本理念として、計画の基本を立て、患者さんを中心にとらえた良質な環境整備、二つ目として維持管理に負担をかけない施設計画、三つ目として災害時

に信頼の高い施設計画、四つ目として環境問題、省エネルギーへの配慮、五つ目としてユニバーサルデザインへの推進、六つ目としてインテリジェントホスピタル、七つ目として安定した経営基盤の支援という7本の柱を基本方針として地域の中核的な病院として住民がいつでも安心してかかれる救急医療体制の整備、病院と診療所との連携、病院と病院間の連携を強化し、患者の立場に立って適切な医療を提供し、住民検診の二次精検を正確かつ迅速に対応できる機能強化、二次医療に関し、地域完結型の医療の整備、訪問看護ステーションの整備、そして予防医療の強化整備といった地域医療の充実を図り、利便性を優先に標榜科目を強化し、快適な受診環境をつくり出すとともに、バリアフリーや予約制にも考慮し、患者にわかりやすい外来処置室、点滴室を整備し、外来治療の拡大・拡充を図り、急性期病床、療養病床の整備をすることとし、合

理性を追求した建設方針として設計を進めているところですが、

元吉議員 夷隅長生保健医療圏における三次救急医療体制をどのように整備していくのか

市長 現在の夷隅長生保健医療圏においては、救命救急センターというような第三次の救急医療機関はなく、第三次救急医療の補完的施設として救急基幹センターである公立長生病院等の3医療施設は三次医療の補完的役割を果たしています。また、救急を必要とする重篤な患者、急患に対しては、救命救急センターの医療スタッフがヘリコプターに同乗して、救急現場等へ出動し、医療圏域を超えて亀田総合病院、千葉県循環器病センター、帝京大学医学部附属市原病院等へドクターヘリの活用も実際に行っているところですが、さらに、18年度には高規格救命救急自動車が増え、広域消防夷隅分署に配置される予定であり、これによりいすみ市内は全部高規格救命救急自動車

配備されることになり、高規格救急センターが、なお県内に7カ所ある救命救急センター、これにも広域的搬送が容易になり、早期治療につながっているところですので、当面

はドクターヘリ、高規格救命救急自動車の配備によって救命救急センターへの輸送体制に努めていくことが現実的な対応と考えています。



新病院建設が待たれる国保国吉病院

地域の安全対策について

高梨 庸 市議員

高梨議員 市内学校通学路の再点検、市内危険箇所調査実施について、各学校さらには地域における不審者対

策、パトロールの方法は、学校教育課長 通学路の点検及び危険箇所調査については、全小・中学校において

教職員、保護者、児童生徒などにより定期的に学区内の点検、調査を実施しています。この点検、調査により発見された危険箇所については警察、保護者等への連絡及び改善策の協議を行うとともに児童生徒に対しては周知、指導を徹底しているところですが、

また、学校における防犯パトロールの状況については、PTAなど地域の方々の協力を得てパトロール隊を組織し、登下校時の巡回等を行っています。その他教員による下校時のパトロールも実施しており、安全の確保に努めているところですが、

高梨議員 こども110番シールの作成、パトロール隊のステッカーを、市として統一しては

学校教育課長 合併後の現在も旧3町の防犯ステッカーがそのまま掲示した状態となつていますので、平成18年度で予算化し、いすみ市としての防犯ステッカーを早急に協力者に配付したいと考えています。

また、パトロール隊のスタッフについては、現在、小・中学校や各団体で自主的に作成をしたものが多く、その管理も多くが学校で行っている状態です。

平成18年度から全小・中学校でスクールガードが構築され、安全パトロールを行うこととなりますが、スタッフの統一に向けて今後、関係機関と協議したい。



先生に付き添われ
下校する新入生

大多喜町に建設予定の「廃棄物最終処分場」について

岩井 豊 重議員

岩井議員 関係住民の設置反対署名の受け止めは

市民生活部長 平成18年1月に大多喜町に対して、大多喜町堀之内の産廃処分場建設に反対する会から反対署名の提出があったと聞いていますが、この署名については、住民の強い要望と受け取れますので、真摯に受け止めなければならぬかと思いますが、建設予定地の大多喜町に提出されたもので、大多喜町の動向を注視したいと考えています。

岩井議員 今後の取り組みは

市民生活部長 私たちが生活していく上で、切っても切

れないものの一つが廃棄物です。総合的に考えると、生活する環境に支障が生じない方法で廃棄物を適正に処理し、安定的に無害化する必要がある、そのためにも最終処分場は必要な施設であると考えています。しかし、施設の設置については、旧夷隅町の地域住民の安全な生活に支障を及ぼさないことを願っているところです。いずれにしても立地は大多喜町であるので、施設の安全性等について大多喜町に要望したいと考えています。

夷隅川流域で発生した水害について、その防止策について

鵜沢 喜久雄議員

鵜沢議員 水害発生の主要因をどう認識しているか

産業建設部長 平成16年の水害の発生は異常気象による集中豪雨によるもので、24

時間最大雨量348ミリで過去の水害記録から見ても非常に大きい、過去最大の雨量が原因と考えられます。ほかにも流れを阻害する河川

両岸の立竹木や流速を弱める蛇行、夷隅川本流との合流部における滞流等も被害を増大させる原因として挙げられると思います。

鵜沢議員 水害発生の要因について、どう防止するか

産業建設部長 夷隅川流域の水害の防止については、地域の代表者が委員として出席している夷隅川流域委員会でも検討されています。近々その流域委員会も開かれますが、過去の水害をもとに浸水想定区域図の作成を検討中であり、洪水の発生が予想される区域の避難計画を今後作成して、地域の水害予防を重視したソフト面の整備等も考えていると伺っています。

鵜沢議員 落合川改修工事の全体の予定工事費、区間、工期は

産業建設部長 落合川災害関連事業の事業費は16億3,700万円。事業の施行区域は旧大原町と旧夷隅町の境から国道465号の此華橋までの間4,600メートルです。事業期間については、平成16年度から



改修の進む落合川
(新田野地先)

平成18年度までの3カ年間です。

さらに、改修工事の現況ですが、施工業者については夷隅地域整備センター管内の旧大原町内8社、旧岬町内2社、御宿町内2社、勝浦市内3社、千葉市内1社の計16社です。

社会的弱者の救済について

齋藤 義議員

齋藤議員 市長は市内交通政策として今何をどのように実現しようとしているか

市長 市内の市民の生活交通を地域全体としてどのように確保していくかが大きな課題です。今後市としては、市内交通システム調査委員会を設置するなど、広く市民の皆様からのご意見を

お聞きしながら、あらゆる観点から協議、検討し、地域住民のニーズに対応した交通体系の構築をしていかなければならないと考えています。

齋藤議員 投票所を増設することにおける、交通弱者への配慮に関する市長の見解は

選挙管理委員会事務局長 投票区の数については、合併協議会総務部会で十分調整、協議した結果で、いすみ市における投票区の基本的な考え方は、旧岬町の例を基準に検討されましたが、旧岬町の投票区は小学

校の学区単位であり、しかも旧町村単位となっていました。この基準を旧夷隅町、旧大原町に当てはめ、選挙人及び被選挙人が公平となるように協議した結果です。

急速な高齢化社会に伴い、高齢者等の交通弱者の投票の便を図る必要があるとは思われるが、投票所を増設するには、他地域との不公平とならないよう、またその区域における投票所の施設の確保、それから投票立会人の確保等の地域の協力も不可欠です。さらに、増設に伴う予算その他の人員確保等も必要であるため、今後地域からの要望等も踏まえた中で、相対的かつ慎重に考慮していきま



夷隅から茂原を結ぶシャトルバス

財政分析による財政計画について

佐藤 一夫議員

佐藤議員 有識者によって構成される委員会、財政を比較分析し長期財政計画を作成しては

市長 通常、財政計画は決算などの実績、国、県の制度動向や将来見通し、経済状況などをさまざまな観点から検証を行い、策定するもの

です。合併協議の中で策定した財政計画は、一定の条件のもと、合併の効果等を加味し、10年間という計画期間で策定しましたが、国の改革等による影響など、先行き不透明な要素が大きかったことから、合併後初となる平成18年度予算にお

いて、既に乖離が生じてきているところでは

財政分析を行う際も、過去のデータは特に重要であり、単に旧3町のデータを合算しただけでは財政指標等計算できないものです。したがって、平成18年度に、市内の有識者を交えて行財政改革推進委員会の組織化を予定しており、当委員会において財政面の協議もお願いし、計画策定に反映したいと考えています。

このような状況です。このようにいすみ市としての長期的な財政計画の策定は、条件が整った上で、方法論等も含め総合的に検討することとし、当面は合併協議における財政計画に修正を加えた短期的な見通しに基づき財政計画にて対応してまいります。なお、平成18年度は総合計画の策定の年ですので、このためにも財政計画は必要ですので、十分今後とも検討したいと考えています。

まちづくり3法の見直しについて

鈴木 麗子 議員

鈴木議員 まちづくり3法（改正都市計画法、中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法）の見直しというすみ市のまちづくりの施策との関係は

企画政策課長 平成17年4月に地方都市における中心市街地再活性化に向けたまちづくり3法の見直しが検討され、その結果都市計画法の一部改正案が今国会に提出されています。

改正案の骨子ですが、延べ床面積が1万平方メートルを超過スーパードラッグストア、娯楽施設などの大規模集客施設が対象で、大型店の出店を都市計画法上の商業、近隣商業、さらには準工業の用途地域に限るとしているものです。これまで出店が認められてきた工業地域や市街地調整地域、白地などには出店できないとしていました、これらの地域に出店する場合には、当然市が用途地域を変更しな

まちづくり3法の改正を踏まえた都市整備と関係団体や経営者との連携を図りながら、快適でにぎわいのある商店街形成を目指し、その誘導策に取り組んでいきたいと考えています。

企画政策課長 まちづくり交付金は地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を推進し、地域経済の活性化を図る目的とした制度です。

手続きとしては、市町村で都市再生整備計画を策定し、国土交通大臣へ提出し、国交省において評価される中で市町村へ通知されるということになります。交付期間はおおむね3年から5年とされ、交付限度額については交付対象経費のおおむね4割となっています。

今後、市としても、事業執行段階において、こうした有利なまちづくり交付金を活用した中で、豊かで個性あふれるまちづくりに努めてまいりたいと考えています。

本会議の会議録をインターネット上で検索・閲覧することができます。



▶ 検索方法は次のとおりです。

- ①いすみ市のホームページ
<http://www.city.isumi.lg.jp/>へアクセスします。
- ②いすみ市議会をクリックし、市議会のトップページから会議録の検索・閲覧をクリックします。
- ③キーワード、トピックスから検索できるほか、「くわしく検索」を選択すると、発言者別にも検索することができます。

編集後記

次年度の予算議会とも言われる3月定例議会が終わりました。

平成18年度当初予算は、いすみ市として実質的に初の予算編成であり、予算の審議については、各常任委員会で活発な議論がなされました。

桜の季節も過ぎ、市内小学校の児童・生徒のみならずも入学・進級・卒業と新たな出発をしたところですが、私どもも新年度が実り多いものとなるよう、新たな気持ちで出発します。

議会だよりも第2号の発行となりますが、今後とも愛読の程よろしくお願いいたします。

（編集委員長 齋藤正昭）

議会を傍聴してみませんか？



次回定例議会は6月に関催されます